

# こちら 消費生活センターです



電力の小売り全面自由化が始まります

4月から電力の小売りが全面自由化されます。電力契約の自由化により、さまざまな業種や業態の事業者の中から小売電気事業者を選択できるようになります。正確な情報を収集し、理解してから契約を。便乗商法にも気をつけましょう。

## 相談事例

電気代が安くなるという電話がかかってきた。「行政の指導で顧客の年齢を聞くことになっている」と業者が言ったので「どの行政か」と尋ねると、上司から聞いていないとごまかされた。4割も安くなるのは不自然ではないか。

## アドバイス

①「料金が安くなる」といった勧誘トークに気を付けましょう。まずは情報を集めて検討してみること。  
小売電気事業者は登録制になっているので確認してみましょう。  
②「料金が安くなる」と勧誘されたときは、どのような条件で安くなるのか、電力以外の商品やサービス契約とのセット料金や値引きになっている

ないか、契約期間が長期になっていないか、解約時に違約金が発生しないかなど、よく確認しましょう。

③電力の小売自由化に便乗した太陽光発電システムの契約をはじめ、プロパンガス、蓄電池などの勧誘が行なわれています。電力の小売自由化と直接関係のない契約については、必要性についてよく考えましょう。

怪しい電話があった、契約に際してトラブルになった、不安になったなどおかしいと感じたら、契約する前に消費生活センターへご相談ください。

●電力の小売自由化制度や事業者の登録状況などの問い合わせ  
経済産業省の専用ナビダイヤル  
☎0570(028)555

●小売契約の締結に関するトラブルについての問い合わせ  
電力取引監視等委員会 相談窓口  
☎03(3501)5725

問い合わせ先  
市消費生活センター  
(合志庁舎2階 総務課内)  
☎(248)5442  
相談受付時間  
平日 午前10時～午後4時

# 人権教育シリーズ②8

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。ここでは、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

## 合志中学校の取り組み

「自分を語る」取り組みを通して

合志中学校は、旧合志町のほぼ中心に位置し、現在、1年生292人、2年生267人、3年生246人、合計805人の生徒が在籍しています。合志小・合志南小・南ヶ丘小の3小学校から入学するため、お互いをよく知らないことから人間関係のトラブルが起ることもあります。



そこで本校では、「お互いをきちんと理解すること」でいじめや差別をなくしていくことを大切にし、なかまづくりや部落問題を中心に人権学習を進めています。中でも最も大切にしているのが「自分を語る」取り組みです。  
本校の人権教育では、1年生で「汚染め一揆」、2年生で「水平社宣言」、3年生で「統一応募用紙」と「43項目の質問状」という教材を通して、自分たちの生活を見つめ直していきま



教材「43項目の質問状」

# こうし 歴史発見

第59回

## 合志市内の記念碑④ 合志義塾跡記念碑

今回紹介する記念碑は、合生の黒松区にある合志義塾跡記念碑です。これは昭和50年に、「合志義塾」の同窓生一同が建立しました。

合志義塾は、1892年(明治25年)に工藤左一と平田一十という2人の青年教師が私財を投じ、教育の機会に恵まれない地方農村子弟のために設立した私塾です。開塾時の生徒数は女子2人を含む25人でスタート。その後も生徒数



▶合志義塾跡記念碑(黒松区)  
※建立場所は私有地です。見学の際はご注意ください。

## 先生方の進路公開 「自分を語る」取り組みから

昨年12月、3年生の学年集会で、学年の先生からの「進路公開」がありました。

先生は、自分の生い立ちや、大学卒業後に働きながら教員免許を取得し、30歳から学校現場で働くようになったこと。バブル崩壊の影響で職場を自主退社した父親との確執と、その父親を受け入れようとする姿などについて話しました。



自分の生い立ちなどを語る先生と、真剣に話を聞く3年生



は増え続け、昭和24年の開塾までの58年間に延べ約7,000人が学びました。

当時の県内ではあまり例を見ない学風を持つ学校で、「自由と規律」「師弟同行」などの精神をもとに子どもたちを指導。生徒を5つの学団(グループ)に分け、団監(リーダー)主導で行事を行なうなど、ユニークな教育方針が評判を呼び、遠く県外から学びに来る生徒も多数いました。

卒業生からは多くの優秀な農家が誕生し、また教師・医師・軍人、海外へ進出する人など、各界の重要人物も多く輩出しています。このように、合志義塾は合志の農業や産業、地域の発展にも深く関わり、地元に愛される学校でした。

## 郷土の歴史マンガ カタルパの樹 ～合志義塾ものがたり～



合志義塾ができるまでの物語がマンガになりまして、ヴィーブルと御代志市民センターで販売中です。ふるさとの歴史をマンガで学んでみませんか。

●1冊 800円(税込み)

最後に、「私は、父親の経済観のなさばかりに目を向けて、温かい言葉をかけるわけでもなく、会話も少ないのが現状です。父親のきつさや立場に思いを寄せる選択をすれば、おのずと行動が変わってくるかもしれません。今はまだ最終的に父親を受け入れることにつながるのか分かりませんが、これからも少しずつ価値観が変わっていけるよう、学びを大切にしなければいけないと思っています」と、これからの自分について語りました。

## 生徒の感想から

これからクラスで進路公開が始まりますが、あらためて真剣にするものだと思います。  
先生も言われていたけれど、言いにくい不安な気持ちがある時にあります。けれども、そんな気持ちでも話せるなかがいるといいし、自分もそんなクラスの一員でありたいと思いました。

もちろん、それぞれ「話したいこと」や「話せること」についての差はあると思います。その中で今、生徒一人ひとりが、クラスの人々に話せることから伝え、卒業後もしっかりとつながっていく「なかも」になるように本校では取り組んでいます。